1700 20 1 077 10 1170												=			
事務事業	■サービス音	生推		平和推進事業											
No./名 称	口支 援 部	門	1 1 P 3 M Com 3 2 2 P												
主管課	文化推進課		関連課	関連課											
分野名	平和•人権														
目標	平和意識の醸成														
(目標値)	平和の大切さを考えるための事業の実施や市民などの活動への支援を行います。														
人口等の	データ区分		22年	度		21年度			20年度		偱	考	i		
データ	人口	1	77,16	31人	1	76,669人		176,484人			・各年4月1日				
	世帯数	78,812世帯			7	8,131世帯			77,430世帯	,	(住臣	本基5	台帳)		
	事業の対象者数		5,302			4,879人			4,706人						
運営資源	決算値(千円)		1,02	25		1,150			2,815						
状 況	(国・県)														
	(負担金等)		4.00			1 150									
	(一般財源)		1,02		1,150				2,815						
		員配置数 1.3			1.3			1.5							
	人件費(千円)	AY A	11,46		12,470			14,438							
	協働の			実行委員会				鎌倉平和推進実行委員会							
★松本光	パートナー	市民半和	和文化展実行委員会 市民平和文化展実行委員会 12.486 13.620				巾氏-		仃委貝会						
事務事業	総事業費(千円)		12,48	80	+	13,620			17,253						
運営経費	市民1人当		70		77			98							
	りの経費(円) 対象者1人		/0						98						
	対象名 1人 当りの経費(円)	2.355			2,792			367							
ベンチマーク	団体名		2,00			1					1				
(県内外自治体	датт д														
や民間団体と															
の比較値)															
指	評価		年度	21年度 22年度		23年度		24:	24年度		最終年	度(年度)		
事業へので	目標値		5,000 5,000			5,000 5			,000		5	5,000			
◎目標を達成 ○目標に向かっ	0	J	実績値	4,879	5,302										
中車業に合まれる	小古巻の証圧(7 個別事業	1 日本	ホル東エン											

評価の視点	①効率性	事業費や人件	費に削減余	地はないか。		②妥	当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。						
	③有効性	事業の成果が行場合影響がある	④公	平性	受益機	会が偏って	ていない	か。受益者負	負担は公平	፞፞፟፞፞፞፞፞፟ዹ公正か。				
小事業名		H22決算値	評価	適切=〇	、要改善=△	〔評価の視	点を参照) ⇒	方向性		実・拡大 B:現合縮小 E:廃		∷改善・見直し	
		1,025千円	①効率性	〇 ②妥当性	〇 ③有効	生 🛆 44	〉平性() ⇒	□A	■B	□C	□D	□E	
平和推進事業		事業の概要		€員とともに講 で平和の大切										
			①効率性	②妥当性	③有効1	生 42	〉平性	⇒	□А	□В	□C	□D	□E	
		事業の概要												
			①効率性	②妥当性	③有効	生 42	\平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E	
			①効率性	②妥当性	③有効1	生 42	〉平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E	
		事業の概要												
	·		①効率性	②妥当性	③有効1	生 42	\平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E	
		事業の概要												
			①効率性	②妥当性	③有効1	生 42	\平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E	
		事業の概要												

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)										
H22年度の課題	・平和推進事業の参加者は概して、中高年齢層に偏った傾向になっている。若い世代も多く参加できるような事業を実施していく必要がある。 ・具体的施策が啓発にとどまり、参加型イベントの検討に至らなかった。									
課題解決のための取制	・小中学生を対象とした平和に関する講話を実施した。 ・留学生など若い世代も参加する平和推進事業を実施した。									
未解決の課題	・具体的施策が啓発にとどまり、参加型イベントの検討、実施に至らなかった。									
今後の方針	・平和都市宣言の精神を広め、後世へ伝えるため幅広い年代層が参加できる事業の企画立案に努め、また、啓発的な事業のほかに、具体的な施策の 実施に向けた検討について、実行委員会などとの協働により取り組んでいく。									
今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E:廃止・休止	В	※ 口事業完了	課長名	青山陽子					

個別事業の概要							
小事業名		ザイムスコード			22年度決算値		
		465	臨時的任用職員賃金	57	59	■適切	口見直し余地あり
		465	平和文化展案内ポスター印刷製本費	40	40	■適切	□見直し余地あり
	主	465	平和文化展案内ポスター印刷製本費 日本非核宣言自治体協議会負担金	60	60	■適切	□見直し余地あり
	主な	465	鎌倉平和推進事業実施負担金	1,235		■適切	□見直し余地あり
	個別			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	92.	_~_,	
平和推進事業	別事						
	業						
	_						
						口適切	□見直し余地あり
	土か						
	個						
	主な個別事						
	事						
	業						
							ロ日本に人にもり
						口適切	□見直し余地あり
	÷						
	エな						
	主な個						
	別						
	事業						
	耒						
						□適切	□見直し余地あり
						口週切	口兄但し赤地のり
							
	主な						
	個別事						
	別						
	争業						
	*						
						□適切	□見直し余地あり
						~ 3	ニノの圧しハンロのノ
	主						
	主な個別事						
	個						
	別主						
	業						
						□適切	□見直し余地あり
	主						
	主な個						
	個別						
	事						
	業						